別紙２

【県央】公的医療機関等2025プラン　対象医療機関からの説明概要

平成30年度第１回県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ(平成30年9月13日開催)における説明

	上段:医療機関名称 下段:開設者	2025プラン策定時期	2025プラン改定時期（最新）	医療機関の現状																	今後の方針		数値目標					課題、今後の対応方針等
					病床種別					病床機能					診療科目	常勤職員数	指定等の状況									病床機能(2025)					診療科見直し	病床稼動率	手術室稼働率	紹介率	逆紹介率	その他	
					一般	療養	精神	結核／感染症	計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計			救急病院	救命救急センター	地域医療支援病院	地域包括ケア病棟	在宅療養後方支援病院	病院機能評価認定	災害拠点病院	神奈川県災害協力病院	地域がん診療連携拠点病院	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計							
1	神奈川リハビリテーション病院	平成29年11月		許可病床数	320	0	0	0	320	平成28年度病床機能報告	50	230	40	320	内,精神,神内,小,小神内,外,整,脳外,産婦,眼,耳,皮,泌,リハ,放,麻,歯口	医師 39人 看護師 211人 理学療法士 57人 作業療法士 36人 その医療職員(薬剤師等) 54人 指導員(職業指導員等) 30人 その他職員(事務職員等) 54人 計 481人											80	200	40	320		－	90.0%	－	－	－	・家庭復帰率 80.0% ・紹介件数 1,000件／年 ・紹介件数 1,000件／年 ・人件費率 90.0% ・医業収益に占める研修等費用1.0%	・2025年は30床増となっているが、現状とは変わらず障害者病棟と手術を中心とした一般病棟の合計。(障害者病棟は今後変わる可能性はあり)開設以来、リハビリテーション医療を行っており、今後とも引き続き対応を維持していく。 ・脳卒中を対象とする回復期リハビリは民間病院の増加など現時点のニーズに合わせて縮小したが、一般病院では受け入れられない頸椎・脊椎損傷者のリハビリ、手術が必要な変形性股関節症等の患者、障害者医療を引き続き提供していく。 ・運営形態は指定管理者制度(第2期:H28～37年度の10年間)で、現時点で病院機能の変更は考えていない。H38年度以降は、指定管理者の選定手続きに併せて、現指定管理者から状況を確認のうえ、今後検討していく。(県立病院課)
					（参考）許可病床数は、平成30年3月に一般病床320床から324床に変更許可されている。																					（参考）病床機能の増減											
	神奈川県知事			稼動病床数	320				320		50	230	40	320												0	30	−30	0	0							
2	厚木市立病院	平成29年11月		許可病床数	341	0	0	6	347	平成28年度病床機能報告	22	319		341	内,消・肝内,循内,呼内,腎内,神内,糖・代・内内,神内,精神,小,外,消外,呼外,乳・内外科,血管外,整,形,脳外,皮,泌,産婦,眼,耳咽,放,麻,病診,救,リハ	医師 64人 看護職員 300人 専門職 79人 事務職員 27人 計 470人	○		○				○			現状から変更なし						－	85.0%	－	72.0%	50.0%	・人件費比率 56.0%	・平成29年12月に新病院が竣工した。病床は現状と2025年で変更はない。 ・病院の機能としては、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病の4疾病、救急医療、災害医療、周産期医療、小児救急医療の4事業とともに、感染症指定病院、地域医療の中心的役割の10機能を果たしている。(本年8月ビックレスキュー訓練を実施、11月に新型インフルエンザの訓練の予定) ・限られた医療資源の中で選択と集中による機能の特化が重要で、疾病連携、病院連携を進め、地域の中核病院としてハード・ソフト両面の整備を充実していく。 ・病床稼働率は85%を目標とし、ほぼ目標に近い実績となっている。医療需要の変化を踏まえ、地域包括ケアシステムの構築への貢献など留意が必要と考えている。
	厚木市長			稼動病床数	341	0	0	6	347		22	319		341																						
3	大和市立病院	平成29年11月		許可病床数	403	0	0	0	403	平成28年度病床機能報告	12	391		403	内,呼内,消内,循内,腎内,神内,血・腫内,糖・内内,外,呼外,消外,心血外,脳外,乳外,形,整,精神,リウマチ,小,皮,泌,産婦,眼,耳咽,リハ,放,病診,麻,歯口	医師　86名 看護職員 325名 専門職　78人 事務職員 38名 その他　9人 計　536人	○						○		○	14	389			403		80.0%	70.0%	65.0%	40.0%	・医業収益に対する人件費 59.0% ・医業収益に占める研修等費用　0.2% ・患者満足度調査結果92.0%	・平均在院日数は年々短くなり、現在は10日。病床稼働率は74.3%で、小児病棟(50床)が30～40%が影響している。 ・急性期が中心の病院であり、県央地域唯一の地域がん診療連携病院、婦人科系疾患や小児の救急対応をするなど、今後とも地域の基幹病院の役割を担っていく。H31.4から根治治療をめざしたリニアックを導入予定。 ・急性期を中心とした病床機能の存続のため、急性期の患者をより受入れやすくするため、地域包括ケア病棟を新設。 ・医師の偏在化が課題なので、広域での役割分担が必要ではないかと考えている。県央地域にあるが、川の西側からの搬送は少なく、横浜市瀬谷区・泉区からの搬送も多い。地域的な特性もある。
																										（参考）病床機能の増減											
	大和市長			稼動病床数	403	0	0	0	401		12	391		403												2	−2	0	0	0							
4	東名厚木病院	平成29年11月	平成30年6月	許可病床数	277	0	0	0	277	平成28年度病床機能報告	4	240	33	277	消,循,腎代謝内,呼,外,血外,乳外,整,脳外,形,泌,麻,放,救急総合	医師 58人 看護職員 307人 専門職 95人 事務職員 52人 計 512人	○		○	○		○		○		8	214	60		282		90.0%	90.0%	80.0%	90.0%	・人件費比率 55.0% ・医業収益に占める研修等費用　0.4%	・開設以来、救急医療と急性期医療を中心に活動。地域連携室が窓口に200件を超える開業医と登録医契約し、紹介患者の受入れや情報提供に努めている。 ・重傷外傷を除く3次救急医療と地域医療支援病院として、地域医療機関のバックアップ病院となる。地域におけるがん治療(手術、放射線治療、化学療法、緩和ケア病棟)の中心的病院となる。 2017年度　緩和ケア病床(14床整備)、地域包括ケア病床(36床→55床増床) 2018年度　地域包括ケア病床(55床→60床増床) ・病床稼働率及び手術稼働率90%、紹介率80%、逆紹介率90%、人件費率55%をめざし、経営の安定化を図る。
					（参考）許可病床数は、平成30年5月に一般病床277床から282床に変更許可されている。																					（参考）病床機能の増減											
	社会医療法人社団三思会			稼動病床数	277	0	0	0	277		4	240	33	277												4	−26	27	0	5							
																										東名厚木病院は、平成30年度病床機能報告を、この病床機能(2025)と同じ内容で報告する予定。											
5	海老名総合病院	平成29年11月	平成30年5月	許可病床数	469	0	0	0	469	平成28年度病床機能報告	34	435		469	内,外,産婦,耳咽,眼,小,整,形,脳外,皮,泌,循内,呼内,呼外,神内,心血外,麻,放,リウマチ,リハ,歯,歯口,消内,消外,血内,救,病診,糖内,腎内,精	医師 108名(研修医含む) 看護職員 447名 専門職 176名 事務職員 97名 計 828名	○	○	○			○		○		206	263			469	診療密度の濃い診療科を積極的に展開していく	85.0～90.0%	－	75.0%以上	50.0%以上	・救急車受入件数 10,000台／年	・平成30年3月に病床は10床増えたようになっているがこれは、ICU病床の取扱いの変更によるもので、実態は変更していない。 ・2017年度より救急救命センター(20床)を開設した。今後は、救急救命センターを有する病院として高度急性期機能を充実させ、地域に貢献してきたい。小児救急については、広域で対応していただきたい。 ・診療の基本は救急医療とがん医療。(当面は緩和ケア病棟なしで対応) ・本館老朽化に伴い、新棟を建築予定。 ・課題としては、医師、看護師の確保、ICTの活用。
					（参考）許可病床数は、平成30年3月に一般病床469床から479床に変更許可されている。																					（参考）病床機能の増減											
	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス			稼動病床数	469	0	0	0	469		34	435		469												172	−172	0	0	0							